

千葉中央看護専門学校は 中国の甘肅医学院看護学部と国際交流を始めます。

このたび、当校は中国の甘肅医学院看護学部と国際交流を進めることとなりました。いま、交流に向けた準備をしています。

きっかけは、天津中医薬大学の郭教授が当校を訪問され当校の校内実習等に興味を示されたことで、甘肅医学院看護学部(開設二年目)から国際交流を目的に招聘を受けました。それを受け、去る、8月12日、誠馨会池田常務理事、藤澤学校長、横田副学校長の三名が訪中し、互いの施設について相互理解の場を持ちました。

甘肅医学院の学生定員は8000名、看護学部の学生は2000名、教職員1200名の大学です。学内の庭園には象徴として大きな石がたくさん置かれていました。朱学長は学問に対して、重い石を意志に重ねられたとのことで、医療人の教育は「徳」が大切と語られました。言葉は違いますが当校の教育理念とも相通じるものであり、共通の理念をもって交流することは大きな意味があると考えました。

11月には甘肅医学院の方をお招きし、学術交流の基本契約を締結する予定です。両校の発展に取って大きな意味があると考えています。

